

提案大学	千葉大学
連携大学	—

研究基盤刷新に向けたビジョン

ライフサイエンス分野の最先端研究機器を集約・開放して顕著な研究成果を創出するとともに、自己収入による持続的・自立的な運営を実現する

研究基盤刷新に向けた取組3本柱

① ライフサイエンス先端研究基盤の整備

西千葉Well-beingリサーチパーク内に、日本電子 (JEOL) と連携し、先端研究機器を集約した「オープンラボ」を新設

② 自己収入による持続可能な運営システムの構築

機器共用と「(株)千葉大学コネク」をハブとした受託解析ネットワークの構築により、オープンラボの機器稼働率を最大化し、利用料収入等による持続可能な運営を実現

③ 技術人材の育成・確保を含む組織体制の整備

研究基盤IR機能の強化や次世代技術者の育成等により、コアファシリティを支える組織の改革を実現

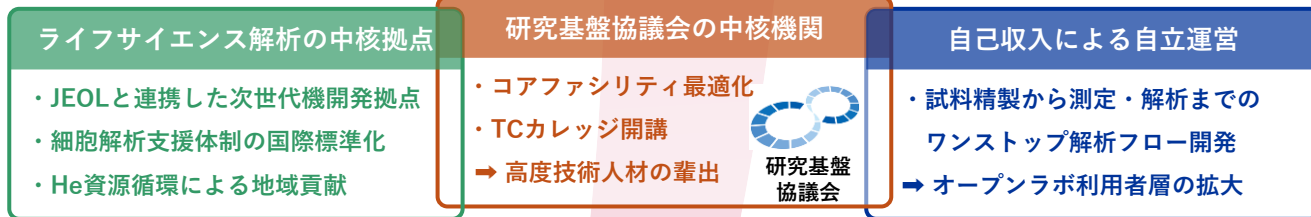
参画機関

日本電子 (株)、(株) 千葉大学コネク、(公財) かずさDNA研究所、日本ウォーターズ (株)、(研) 量子科学技術研究開発機構 (QST)、(一社) 研究基盤協議会、(国) 筑波大学、(国) 東京科学大学、(大) 自然科学研究機構 分子科学研究所

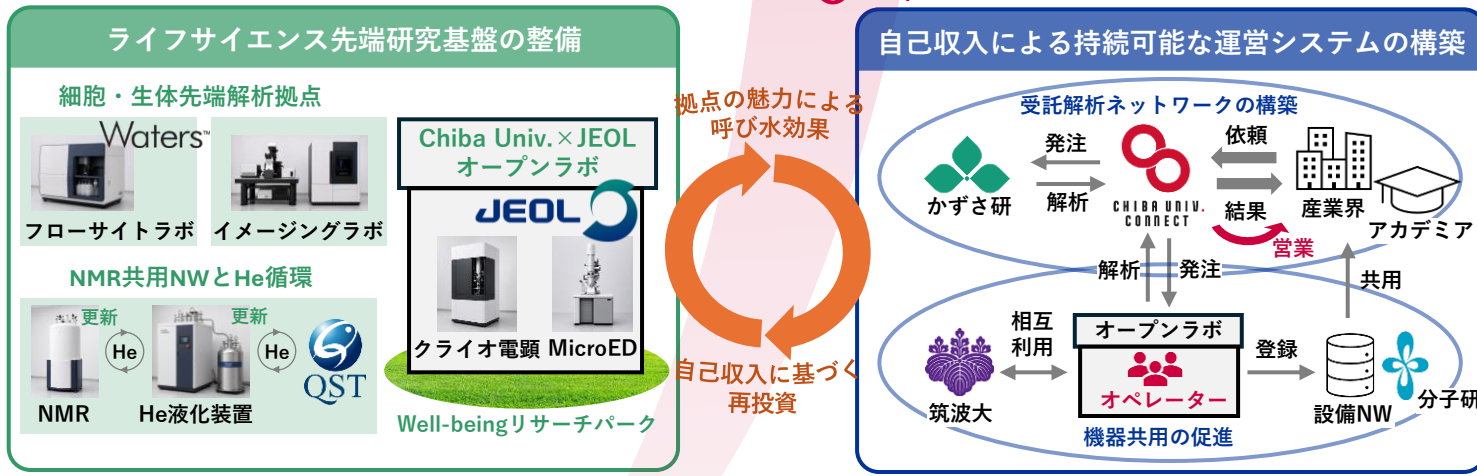
研究基盤刷新のモデルケースとして
我が国全体の研究基盤強化を先導



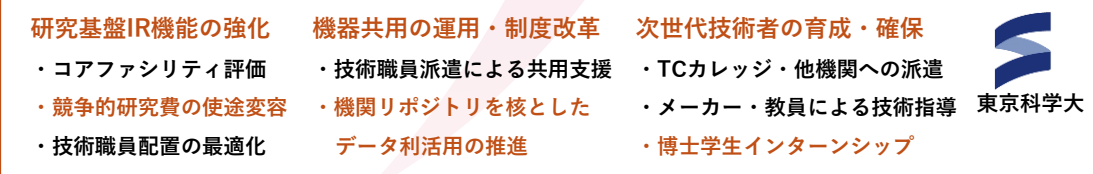
○ 10 年



○ 3 年



技術人材の育成・確保を含む組織体制の整備



取組の概要